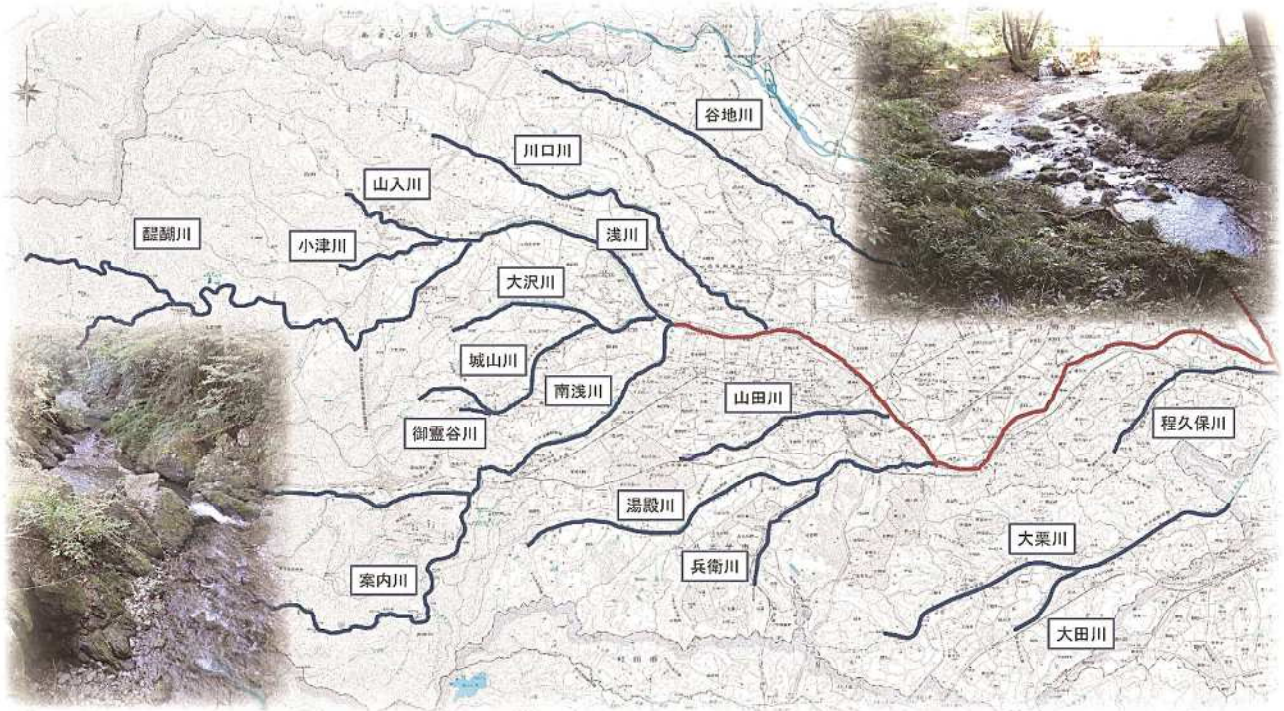


第9期 浅川流域連絡会 活動報告



浅川流域連絡会とは

浅川流域連絡会は、平成20年3月に第1期が設立され、令和6年に第9期を迎えました。

流域住民や市民団体、関係自治体が一体となり、

1期2年間の活動で、「清らかな自然と悠久の歴史を背景にした川づくり」をテーマに、浅川水系13河川に、生活圏を共にする谷地川、程久保川、大栗川、大田川を加えた17河川を対象に、魅力ある川づくりを目指しています。

環境に配慮した川づくり分科会



浅川流域連絡会 全体会



生きもの分科会



川口川フィールドワーク



川を歩こう 南浅川



南浅川生きもの調査

令和8年3月

浅川流域連絡会

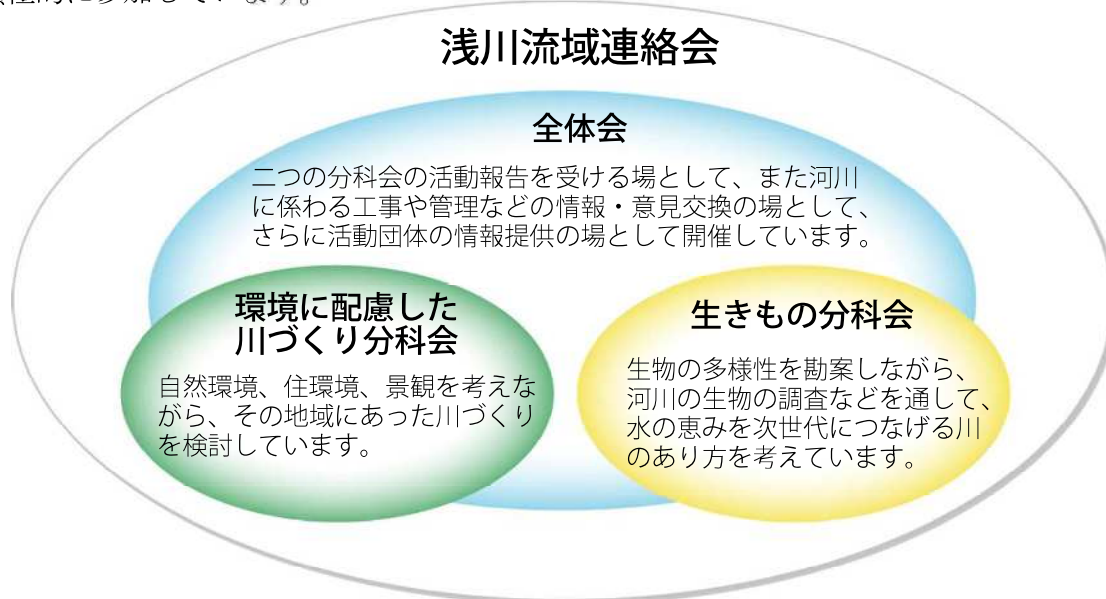
事務局：東京都南多摩西部建設事務所工事課工務担当 TEL：042-643-2648

浅川流域連絡会の活動

地域に親しまれる川づくりには、都民と行政が共通の認識に基づき、良好なパートナーシップを築いていくことが大切です。東京都では、流域の住民や市民団体、関係自治体と一体となり、河川に係わる環境と歴史・文化や、計画・工事・管理などについて情報や意見交換を行うことを目的に流域連絡会を設置しています。

浅川流域連絡会は「全体会」と二つの「分科会」で構成され、「全体会」は「環境に配慮した川づくり分科会」と「生きものの分科会」の活動報告と、川づくりに関するさまざまな情報や意見の提供、交換の場となっています。

また、毎年東京都が主催するイベント「川を歩こう～南浅川」にも、都民委員がガイド役を務めるなど、積極的に参加しています。



第9期 浅川流域連絡会全体会の開催状況

		開催日	主な内容
前期	第1回	令和6年 7月 4日	座長・副座長の選出／第9期前期の活動について／工事情報 他
	第2回	令和6年 11月 21日	各分科会活動方針／各分科会活動報告／工事情報 他
	第3回	令和7年 2月 17日	各分科会活動報告／第9期前期浅川流域連絡会活動報告（案）／第9期前期分科会活動報告書（案）／工事情報 他
後期	第4回	令和7年 9月 26日	第9期後期の活動について／各分科会活動報告／工事情報 他
		令和7年 10月 4日	河川愛護月間関連行事「川を歩こう 南浅川」
	第5回	令和7年 12月 16日	各分科会の活動報告／工事情報／今後の活動について 他
	第6回	令和8年 2月 17日	各分科会活動報告／第9期浅川流域連絡会活動報告（案）／第9期分科会活動報告書（案）／工事情報 他



第1回全体会は対面形式で開催



第2回以降は対面・Web 併用で開催



「川を歩こう」イベントにも積極参加

環境に配慮した川づくり分科会の活動

環境に配慮した川づくり分科会は「自然環境、住環境、景観を考えながら、その地域にあった川づくりを検討する」を目的として活動を行っています。

前期は、代表者選出と活動方針の検討と2回のフィールドワークを実施した後に、「河川改修計画に対する提案と成果一覧表」の作成・更新と前期活動のまとめなどを行いました。

後期は2回のフィールドワークを実施し、川口川の河川改修計画に対する提案について話し合いを行い、「河川改修計画に対する提案と成果一覧表」の更新と第9期活動のまとめなどを行いました。

■活動方針

東京都南多摩西部建設事務所が立案した河川改修計画に対し、防災面を基本として、自然環境、住環境、景観等の多面的な視点から、河川改修対象箇所における望ましい川のあり方を検討し、現実的で望ましい河川改修の姿を提案する。

また、これまでに提案を行い整備工事が実施された箇所に対し、整備後の状況を調査し、提案の成果を検証する。

第9期 環境に配慮した川づくり分科会の開催状況

	開催日	主な内容
前期	第1回 令和6年 8月 28日	代表者の選出／活動方針の決定／第9期前期の活動について 他
	第2回 令和6年 9月 19日	城山川フィールドワーク（出羽橋上流・整備済区間）
	第3回 令和6年 12月 19日	川口川フィールドワーク（山王橋上流・未整備区間）
	第4回 令和7年 1月 27日	フィールドワーク実施報告／第9期前期分科会活動報告書（案） 他
後期	第5回 令和7年 7月 10日	川口川フィールドワーク（片井戸新橋～山王橋）
	第6回 令和7年 10月 17日	河川改修計画に対する提案と成果一覧表
	第7回 令和7年 11月 12日	川口川フィールドワーク（駒形橋～堀口橋・施工中区間）
	第8回 令和8年 1月 27日	フィールドワーク実施報告／第9期分科会活動報告書（案）／第10期前期の活動 他

■活動内容

1) フィールドワークの結果

城山川：整備後の河道状況等について検証（確認）

提案した多孔質護岸ブロックの採用により、整備後の護岸にコケが生える等ホタルの生育環境の復元を確認

川口川：河川改修計画〔駒形橋～山王橋〕で令和5年11月の提案についての対応の検証

自然環境に配慮した材質の採用、工法の選定について確認（自然石護岸による深目地状況等）

2) 河川改修計画（川口川〔山王橋～片井戸新橋〕）に対する主な提案

- ・宮田橋下流は野鳥の生態系保持空間とし現在の環境を保全、旧川部は憩いの公園として整備
- ・植生が早期に復元するよう、植物（ガマ・ツルヨシ）の移植及び復植の実施
- ・管理用通路の植栽について、地域の植生に配慮した植種の採用を提案



第8回分科会



城山川フィールドワーク（R6. 9. 19）



川口川フィールドワーク（R7. 11. 12）

生きものの分科会の活動

生きものの分科会は「河川の生物の調査などを通して、水の恵みを次世代につなげる川のあり方を考える」を目的として活動を行っています。

前期は、代表者の選出と今期の活動方針の検討と2回の生きものの調査、調査の実施報告、生きものの調査経年表の確認、第9期前期活動のまとめなどを行いました。

後期は、3回の生きものの調査を実施し、生きものの調査の実施報告、生きものの調査経年表の確認、第9期活動のまとめなどを行いました。

■活動方針

本分科会による生きものの調査結果、各団体による環境学習や鳥類調査等の取り組みから得られた生きものの調査の結果、当分科会によるフィールドワークを通して、各河川における生きものの生態系や環境・生息場所の環境を把握し、その経年変化を取りまとめる。

- ①調査箇所を1～2箇所程度選定し、生きものの調査を実施し蓄積データとする。
- ②他団体等で収集された過去の調査データを収集し、蓄積データとして整理する。

第9期 生きものの分科会の開催状況

	開催日	主な内容
前期	第1回 令和6年 8月 29日	代表者の選出／活動方針の決定／第9期前期の活動について 他
	第2回 令和6年 10月 25日	南浅川生きものの調査（陵南大橋上下流・防災工事予定箇所）
	第3回 令和6年 12月 12日	川口川生きものの調査（高尾橋上下流・整備済区間）
	第4回 令和7年 1月 27日	生きものの調査実施報告／第9期前期分科会活動報告書（案） 他
後期	第5回 令和7年 7月 2日	川口川生きものの調査（宮田橋上下流・次期認可取得区間）
	第6回 令和7年 10月 16日	城山川生きものの調査（出羽橋上流・緊急施工区間）
	第7回 令和7年 11月 14日	南浅川生きものの調査（陵南大橋上下流・整備済区間）
	第8回 令和8年 1月 30日	生きものの調査実施報告／生きものの調査経年表の更新／第9期分科会活動報告書（案）／第10期前期の活動 他

■活動内容（調査箇所の概要）

南浅川（陵南大橋）【工事前】：令和元年台風19号の溢水により、低水護岸や河床掘削等の防災工事を予定。

川口川（高尾橋）【工事後】：不透水層（人工粘土）の整備により、瀬切れが解消された。また、ヨシ等の植生に覆われ、魚や底生生物、鳥などの生息に良好な環境であった。調査の結果、概ね工事の前後で変化はなかった。

川口川（宮田橋）【工事前】：全域でツルヨシなどの植生が繁茂し、水の流れは瀬や淵による変化があり、やや深めの溜りが数箇所できていた。

城山川（出羽橋）【工事後】：元々の蛇行と右岸の河畔林を保全した整備、護岸には苔が生える多孔質ブロックを採用するなど、自然や生物の生息環境に配慮した工法が採用された。調査の結果、カワニナも確認されホタルの生息環境が復元されていた。

南浅川（陵南大橋）【工事後】：6月に防災工事が完了。工事前の調査結果と比較し、採取した生きものの種類に大きな変化が見られなかったが採取数が減っていた。工事後間もないため河床が平瀬化し、川の営みによる河川環境が復元中と推測される。



第8回分科会



川口川生きものの調査（R7. 7. 2）



南浅川生きものの調査（R7. 11. 14）